

サササ
サササ
サササ
R10



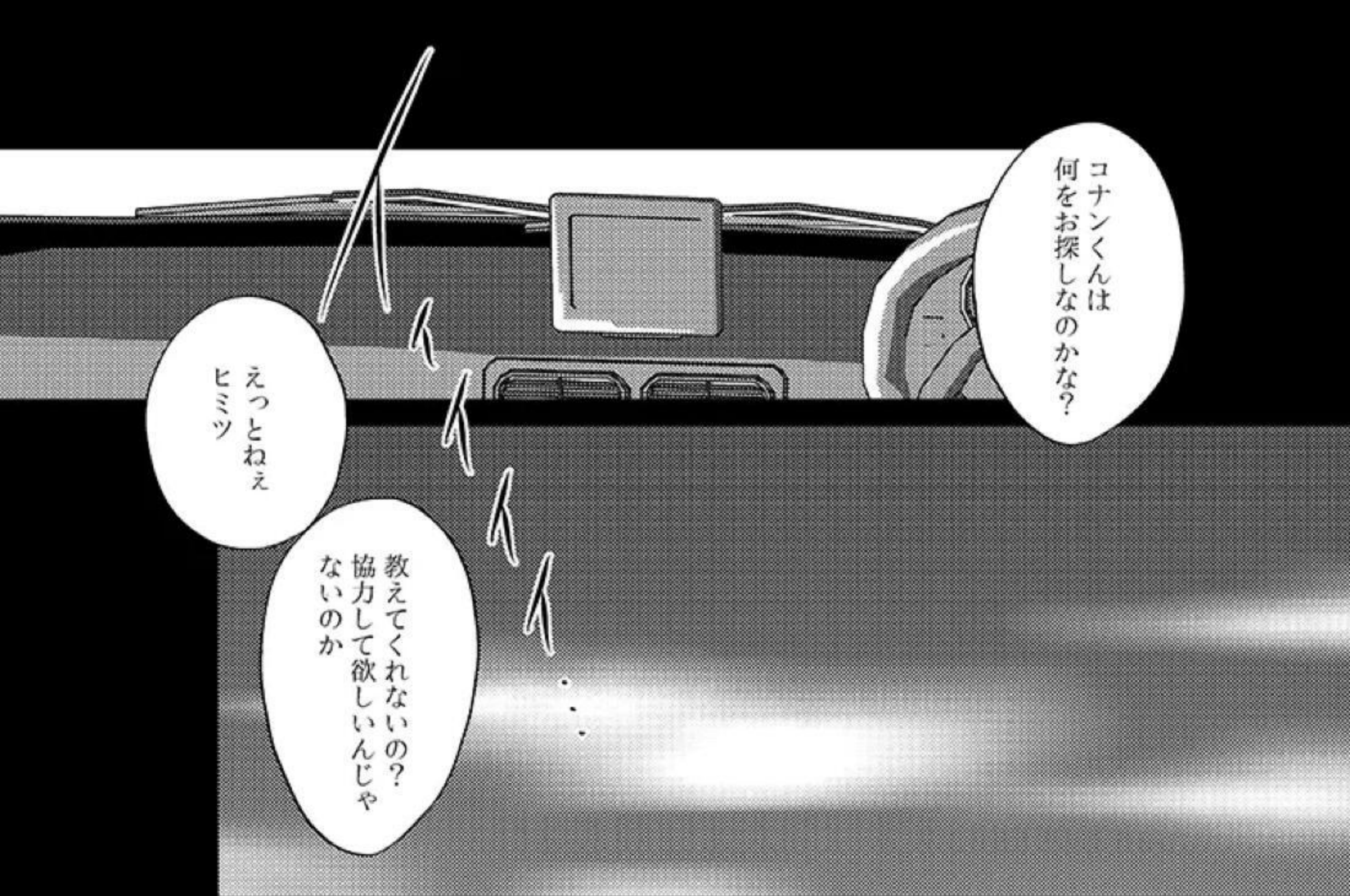


R10

DETECTIVE
CONAN
FANBOOK#1
FURUYA X SHINICHI
presented by
SANSHTA

今宵月面遊泳、甘い接吻…3
サインテューフィンサイド…17





コナンくんは
何をお探しのかな？

えつとねえ
ヒミツ

教えてくれないの？
協力して欲しいんじや
ないのか



ううん？

見つけるのは
安室さん

僕？

へえ…

それで？

それはどこに
あるんだい？



月の世界！

今宵月面遊泳、
甘い接吻



組織壊滅から半年
工藤新一の警護を
始めて三ヶ月

今日で
見納め、か

昨日 初めて衝突した

本来黙って消え去るべきを
ダラダラと留まったばかりが
秘匿すべき案件にも
勘付かれてしまうなど

手落ちも
いいところ

彼は納得しないだろうが
大人として警官としての
対処は正しかった



俺が一番辛かった時に
欲しかったものになりたかった

それだけは許してよ

だけど





降谷さん
肩貸してよ

大変です
対象
見失いました

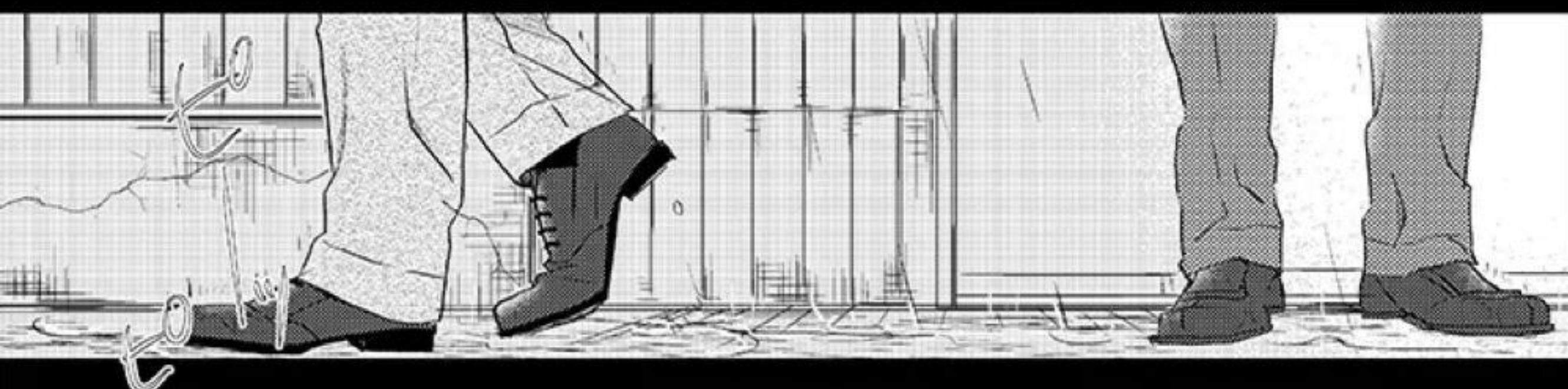


……
乾くかな



工藤君!!







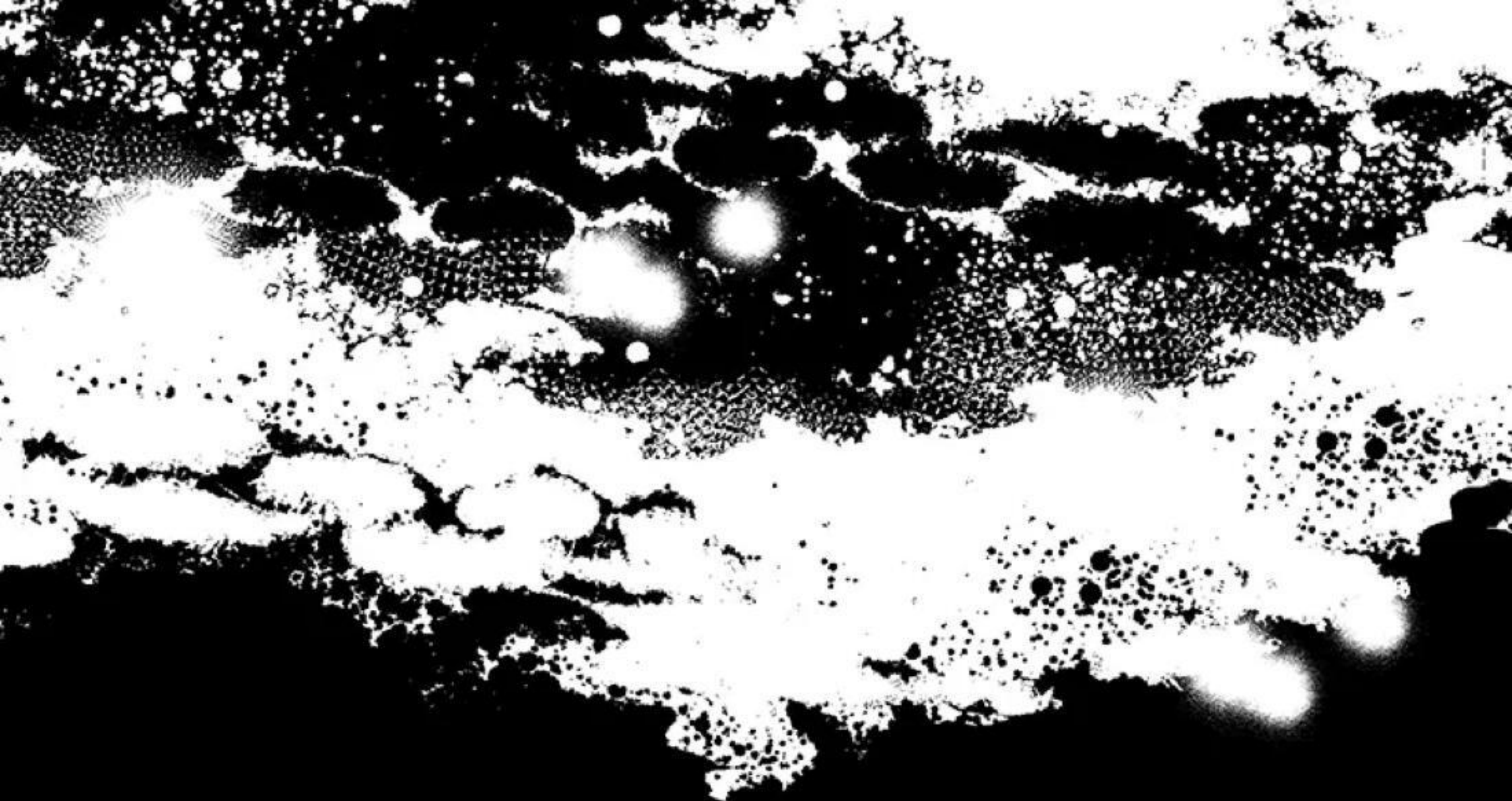




月？

うん



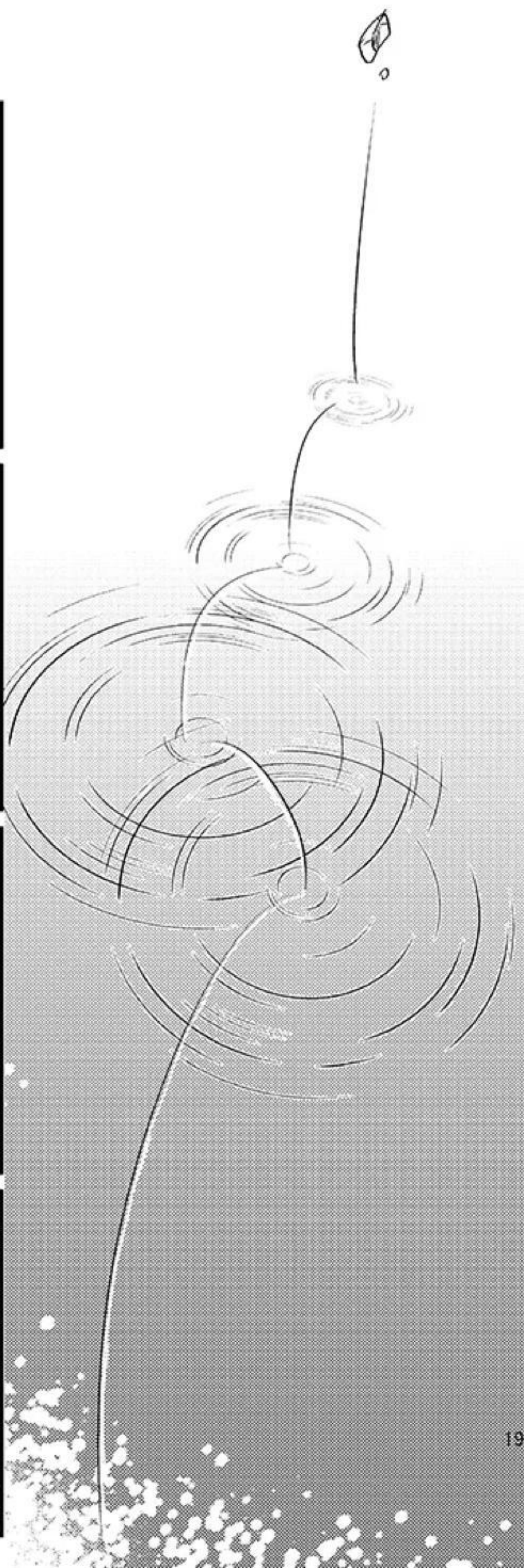


寂しさは

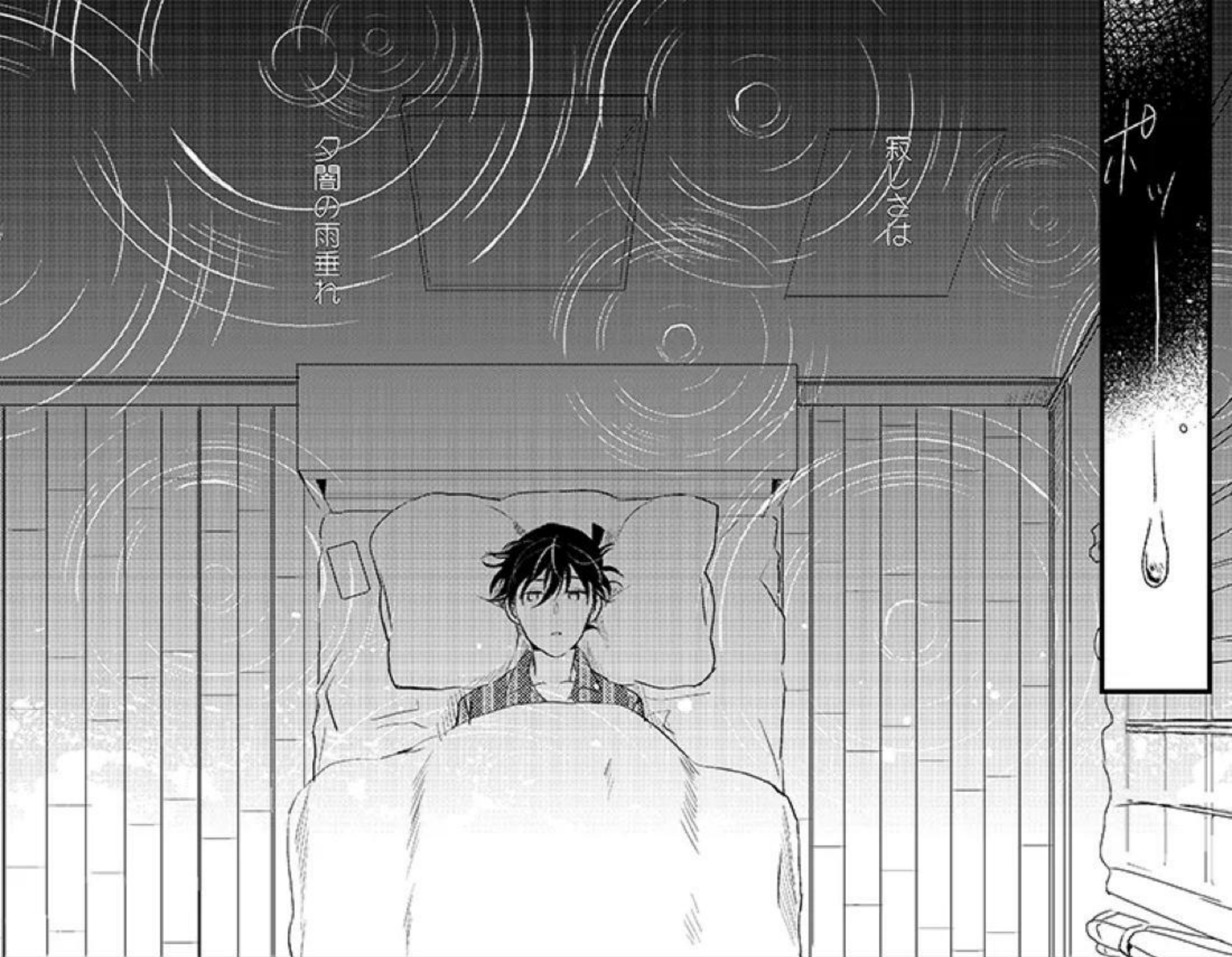
笑うそばに忍び寄る影

サイン・ディー・サイン・サイト









夕闇の雨垂れ

寂しきは

ホッ



……？

今何時…

ん…



失せ物ですか
名探偵？

!!

あれ…？
トラップ…？







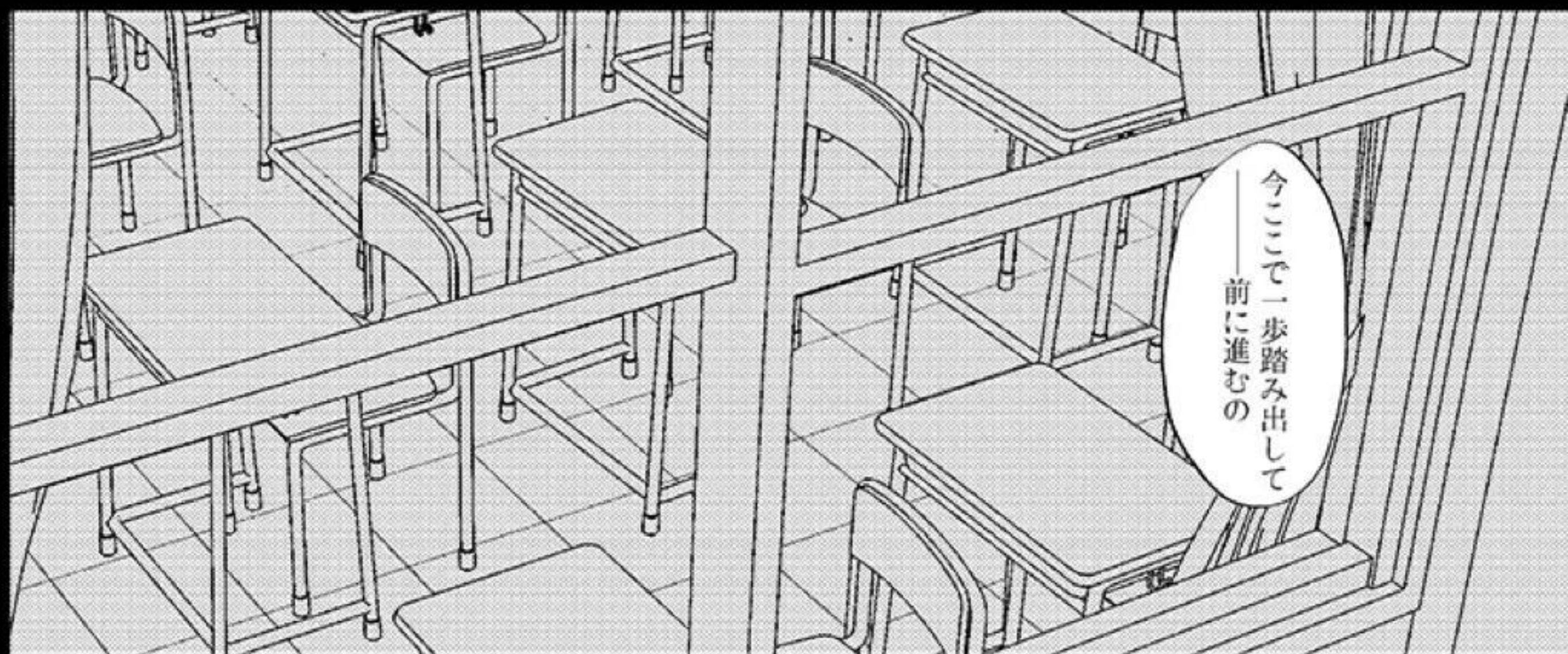
話したいことは山程あった
話せることは殆どなかった

当たり障りのない会話だけが
俺達を辛うじて恋仲でいさせてくれる

私は新一の話聞きたいのに
新一は「いつかな」って
はぐらかしてばかり…

ねえ新一のいつかって

いつ？





次にキスする人とは
何があっても
幸せになれるように



俺の帰還をもって完結してしまった物語は
引き延ばしてもハッピーエンドはやって来ない

ここからは 俺 ひとり



ケガ人が歩き方を忘れるみたいに



俺は工藤新一の在り方がわからなくなっている









退行？

ああ

大分語弊があるけどね
一種の防御反応だ





たしかに
君の訪問は
色んな意味で褒められた
ものではないな

だから

明日またおいで

ね？

あ

ハイ——

んん？！





走って走ってー!!



博士
ファイトです

君達が速すぎるんじや
年寄りはおもつと大事にせい...



さっ君達も
頑張ってくれよ!

アイスクリーム作り!

はい...

元太君
パスパスーっ



博士!
遅いよはやくはやくーっ

よう



全く...
朝っぱらからヒトを捕まえて
子供達を呼べだのお菓子を提供しろだの
なんて人遣いが荒い人なのかしら...

公安って
ヒマなの?

しかも一日限定の
安室速復活とか

すみません
ご協力感謝します...

あ、作を解いてみる





心で見て下さい



俺はシンプルに
アオガード…

0



ムカ

何コソコソ
話してんだ…?



……ムカッ？



歩美？



そこ座んのかよ

んしょ



……







俺も



一緒にアイスクリーム
作りたかったなあ...



おめーらに会えなくて
寂しかったよ...



コナンも今頃
そう思ってるよ!!!

おおお俺
ちよとヤイ〜!!!

新一お兄さん?

??

って!!





負担、だったかな...

ごめん

え？



それは
絶対にない！

そんな



はい...

カキ



あいつらの事も
ずっと気掛かりだったから

キ...じゃなくて
黒羽とは本当は
遊んでみたかったし

楽しかったです
すごく...



だから...

だから





そうだ新一君

何で
ドキドキしてんだ...?
ドン
0.
ドン





なーんてね!

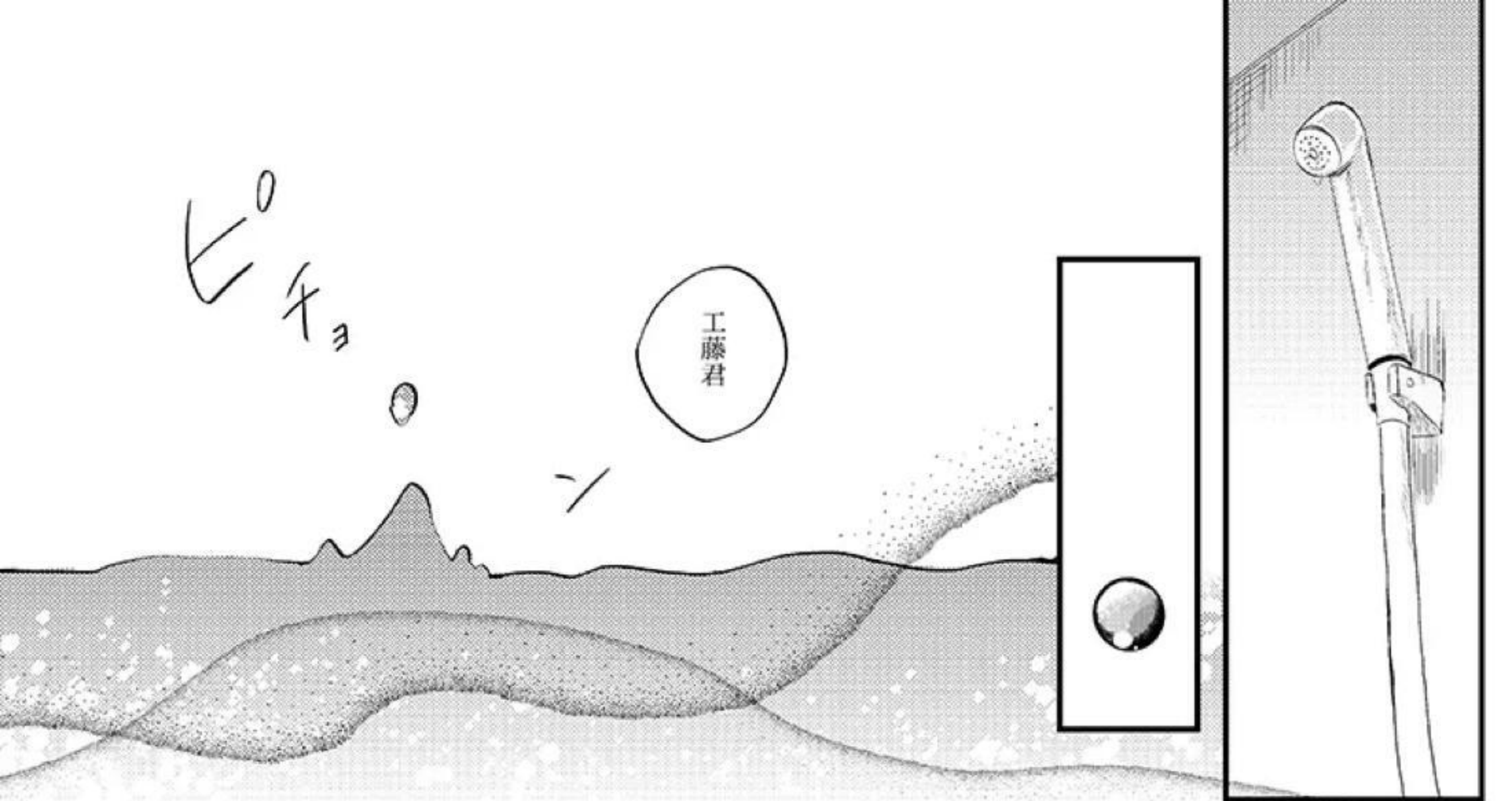
からかわないで
下さいよ!



安室さんのアイス?
さつき小嶋君が食べてたわよ

すめーら
ドコ行ったんだ?

え〜っ?!





たとえ
君の望む答えが
返ってきてても

それは

傷を癒しもしないし
君の思考や視界を
濁らせてしまう



うまく言葉に
出来なくてもいいから

言って向き合おう

君の中から切り離す事は
手放す事じゃない

少し素直に
なれるだけだ



明かさない事で

守った気になってたのは
俺だけだった

蘭、とつくに察して
ずっと待っていてくれてたのに

俺はバカのひとつ覚えみたい
に待てって言い続けた

どれだけ心細い思いを
させたか

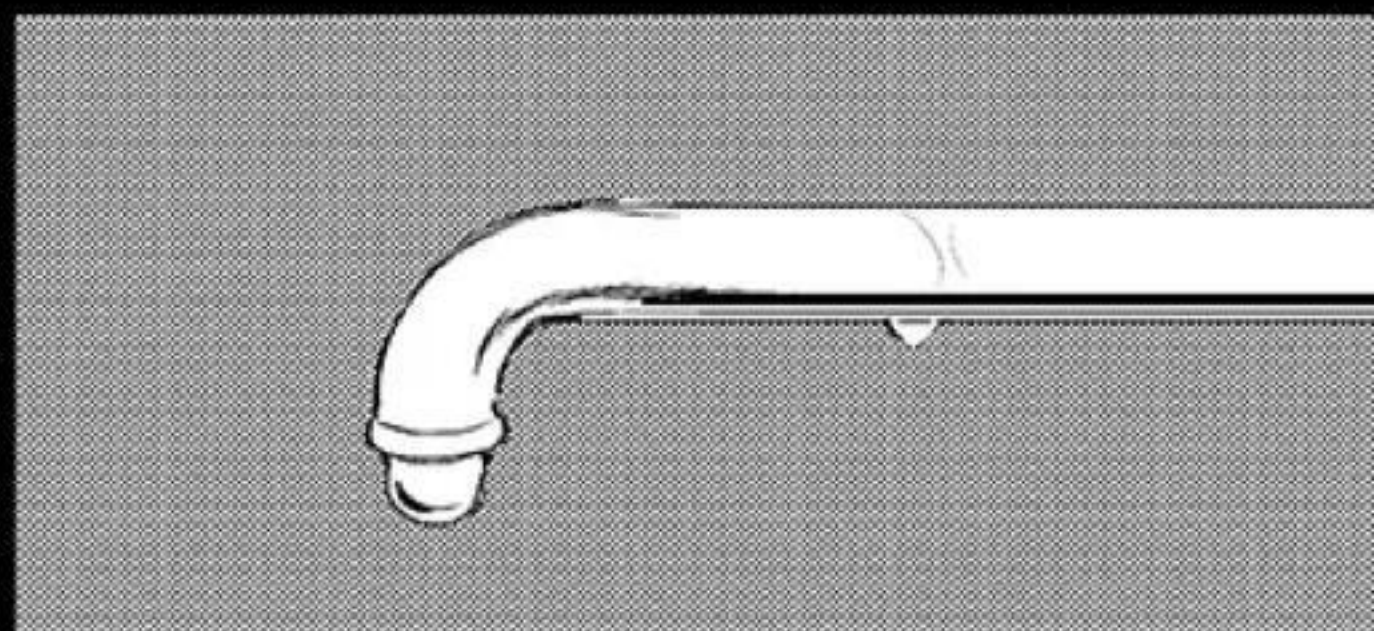
俺はもう

知らねえはずねえのに



ただいまとおかえりを
言い合えれば

それで良かったけど



彼女自身の歩みを
阻んではいけない



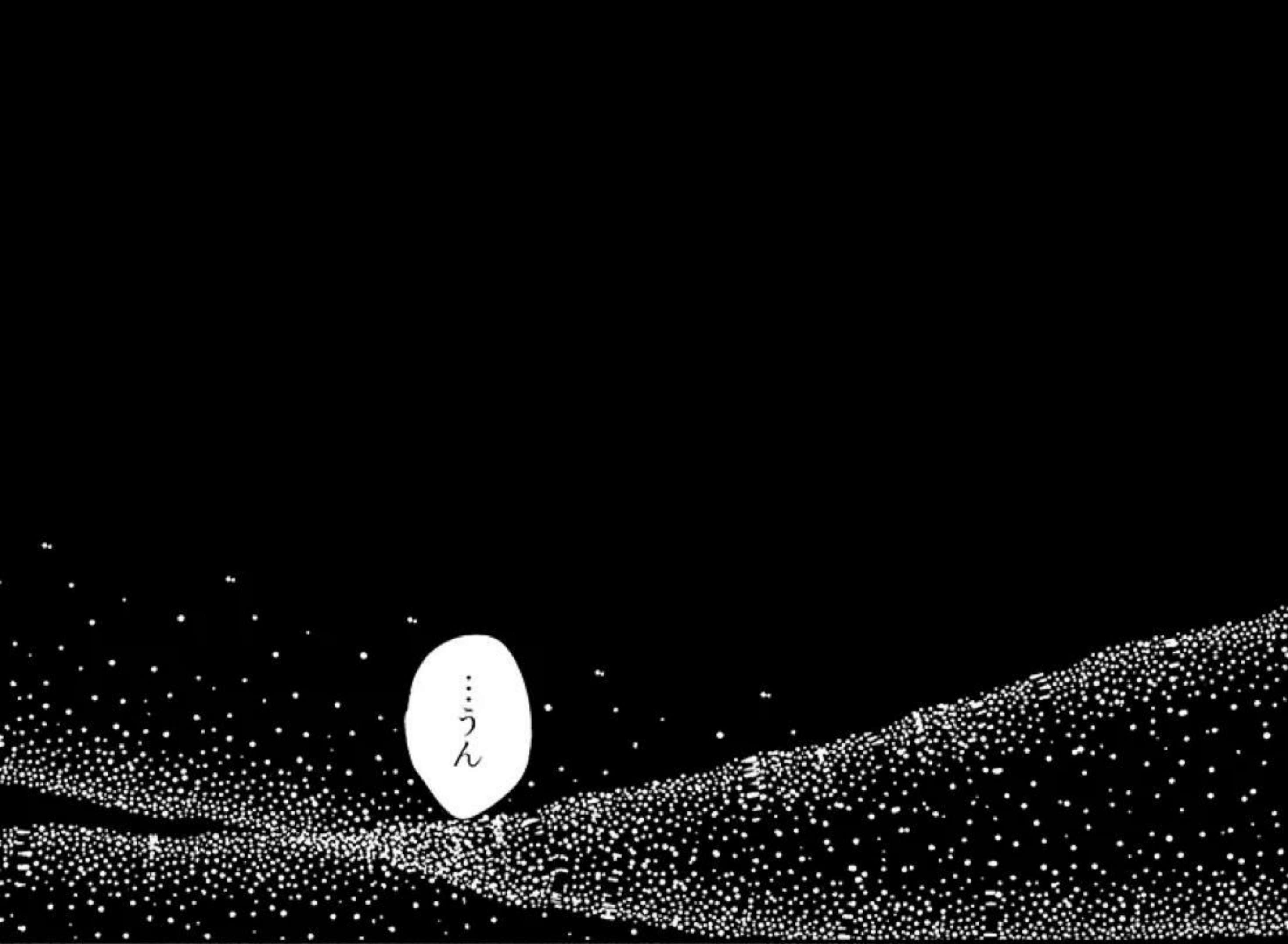
本当にそれきりに
なっちゃった

まろ

まろ

……さみしい









あの人の周りは
無茶苦茶な人間ばかりだから
色々と耐性がついている

ハア...

君が少々現実離れ
していようと驚かない



死ぬ程
驚いている

ぷっ



...いや
訂正させてくれ

?



...あの



あはっ

あつすいません

すはははは

いや別に
構わない



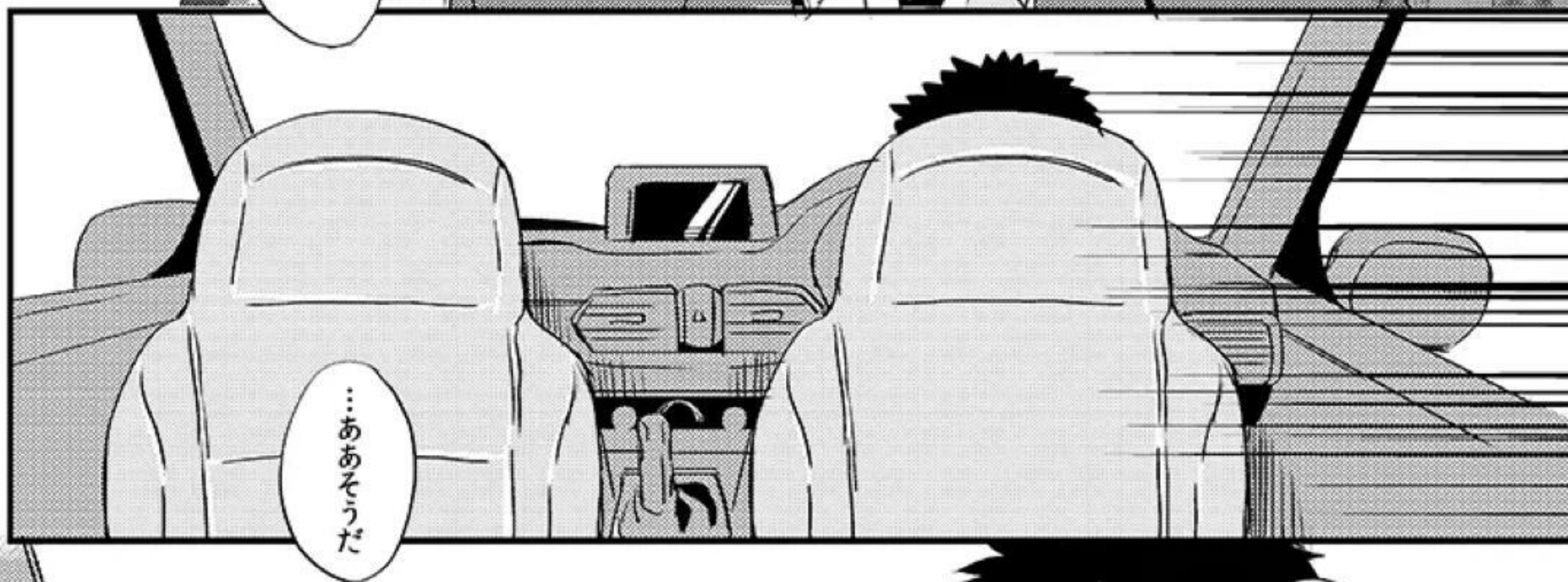
我々はこの国の影だが

——
それでも人間だ

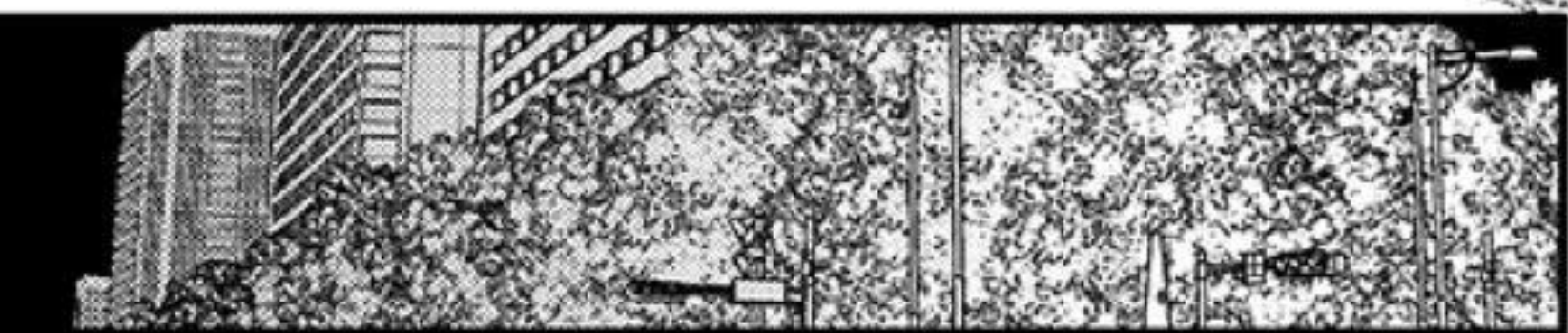
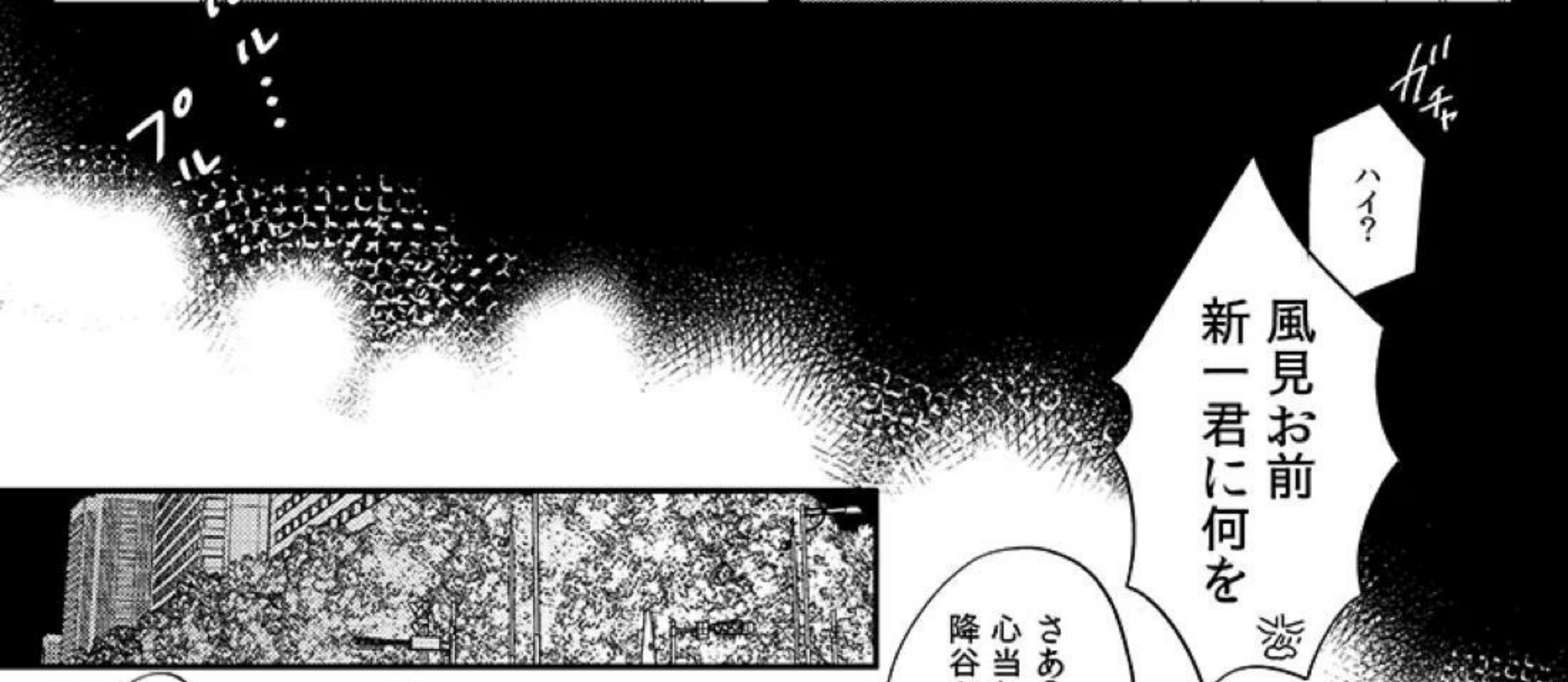
擦り切れそうな糸を
ピンと張って生きている
あの人が

君の事を考えている時は

いつも笑っているんだ



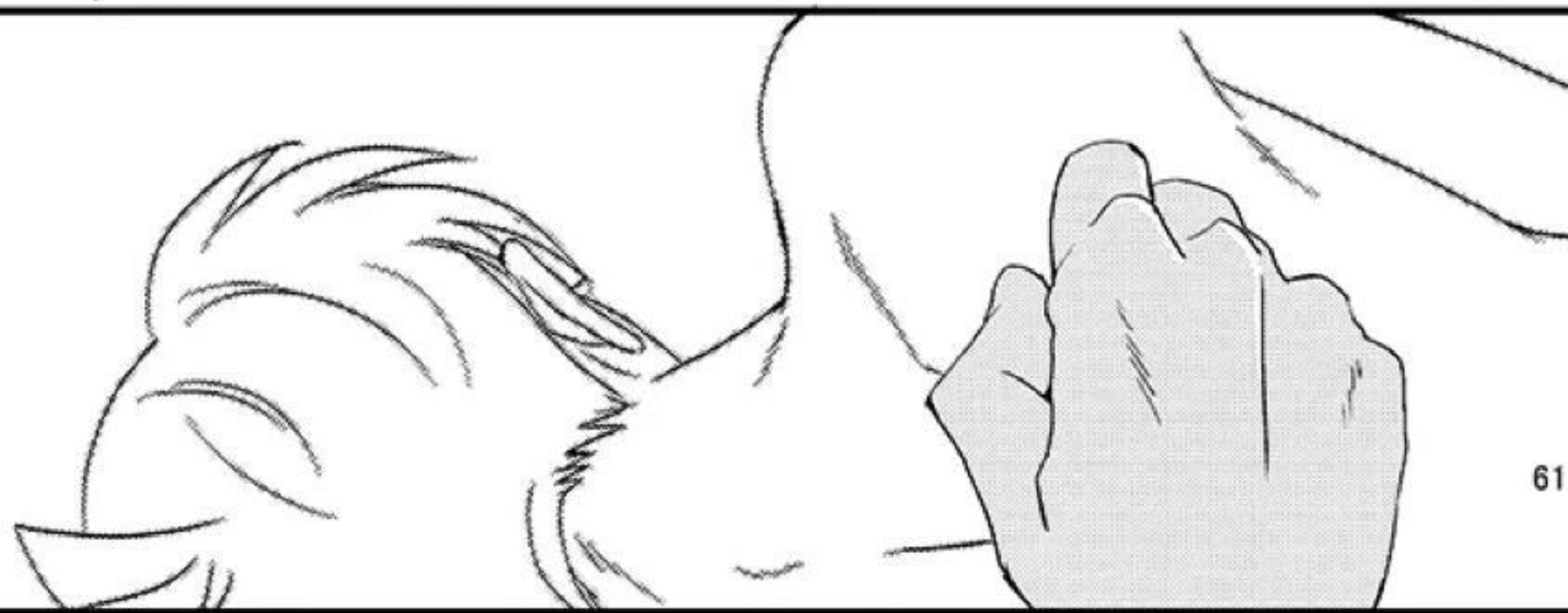
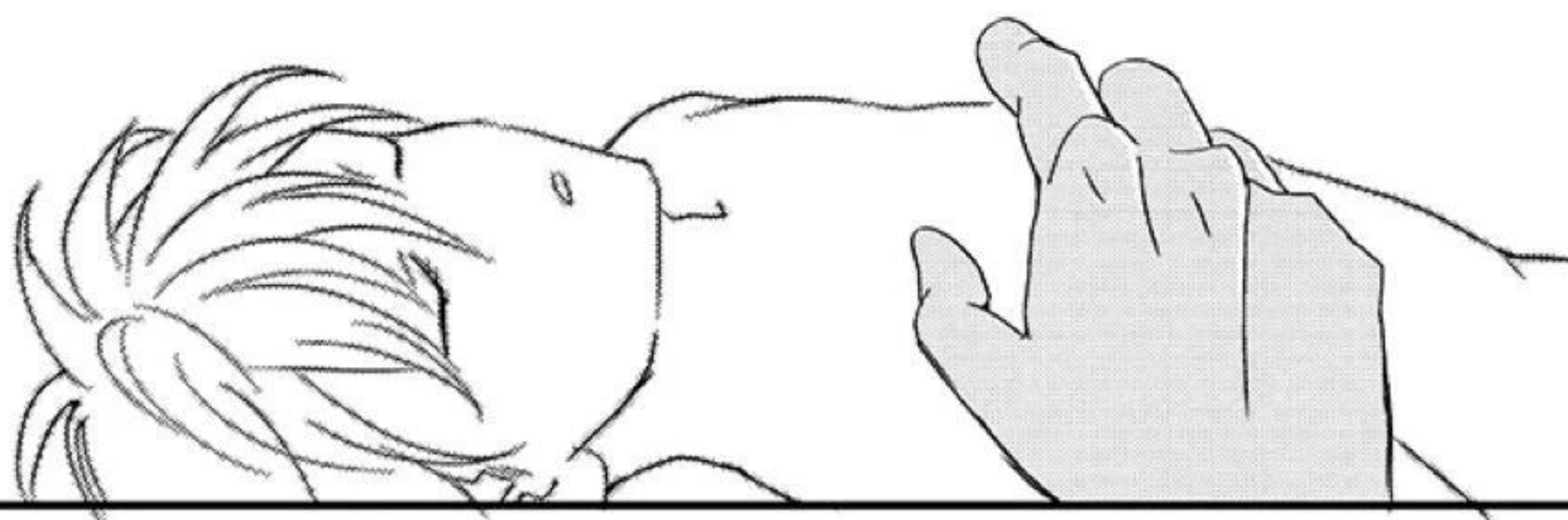




降谷さんが夜な夜な
頭を撫でにやって来る

力強えよ！
寝かす気あんのか

わしわしわし
わしわしわし
わしわし









ウソつき



俺

だめ



君の警護を
降りることになった

...



動き...あつたんですね

ああ





コナンなら
連れて行きましたか



連れてくも何も…

勝手に嗅ぎつけて
いつの間にかいるじゃないか
あの子は



だからまだ
何も言っていない！

わかるよ

でもだめ



…まあな

新一君は、だめ

へっ

……どうしてかな



俺の宝箱はいつも
足を生やして

ひとりでに
歩き出すんだ



大事なものを
大事にしたいよ

失くすのも壊すのも
もうウンザリだ

降谷さ——

おやすみ

ちゃんと寝るんだよ

また明日

.....



シリーズ新刊の
発売は三週先

課題だって
睡眠を削ってまで
取り組む量じゃない



悪りい…



工藤君？

何そのクマ



ま、ダメされてあげても
良かったけど

ねえ工藤君

私あなたと
たればの話なんて
するつもりないから





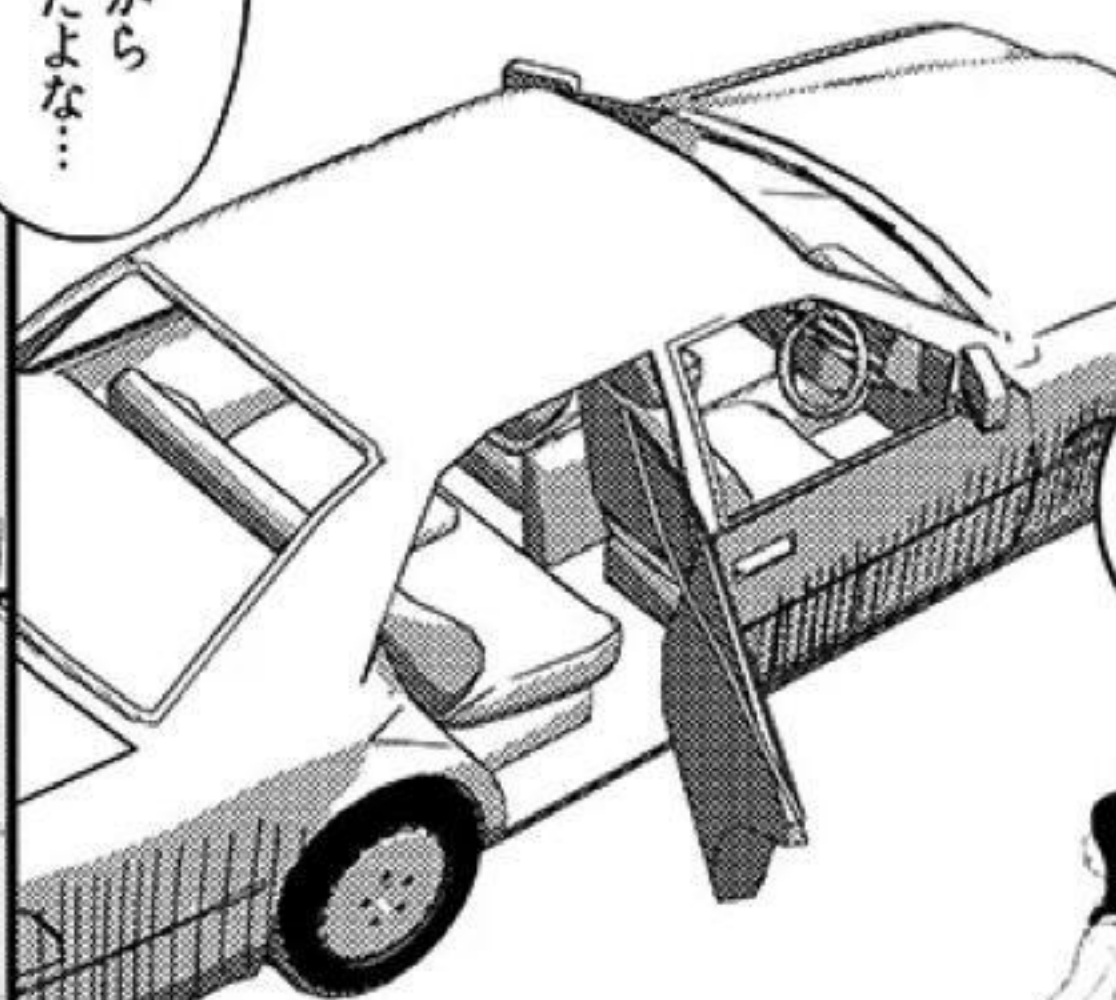
ハイもういいわよ
お大事に

ンだよ
ワケわかんねー...



目立つから
やなんだよな...

...えっ?!





ああ

なんであなたが？



それに



あの時

僕を選んでくれたろう



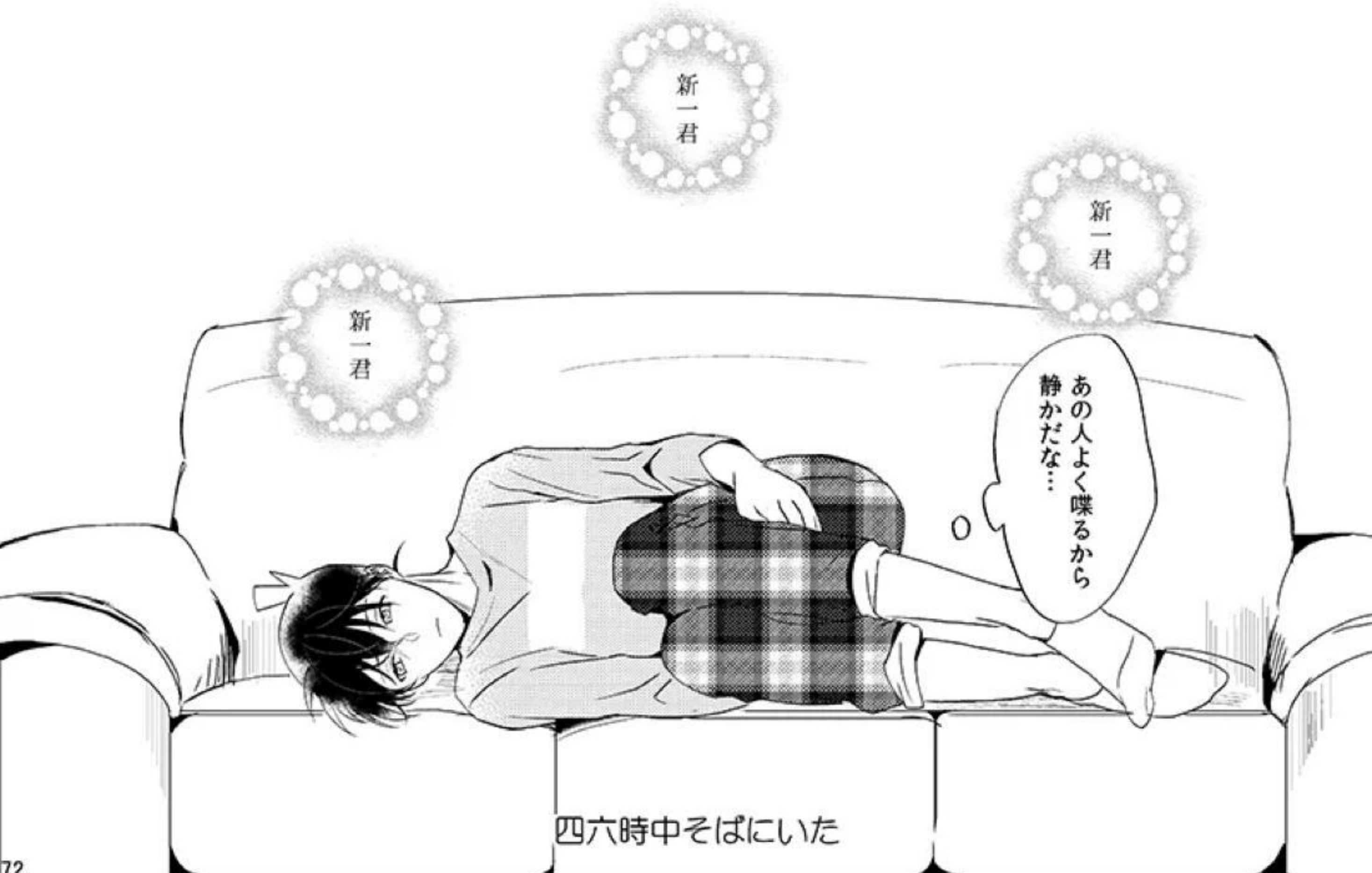
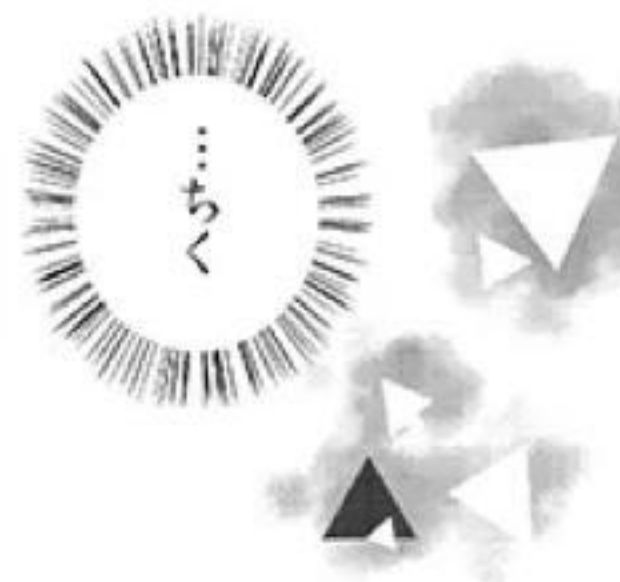
見知らぬ人間に
囲まれるよりは
幾分マシだろうと
思ってたね

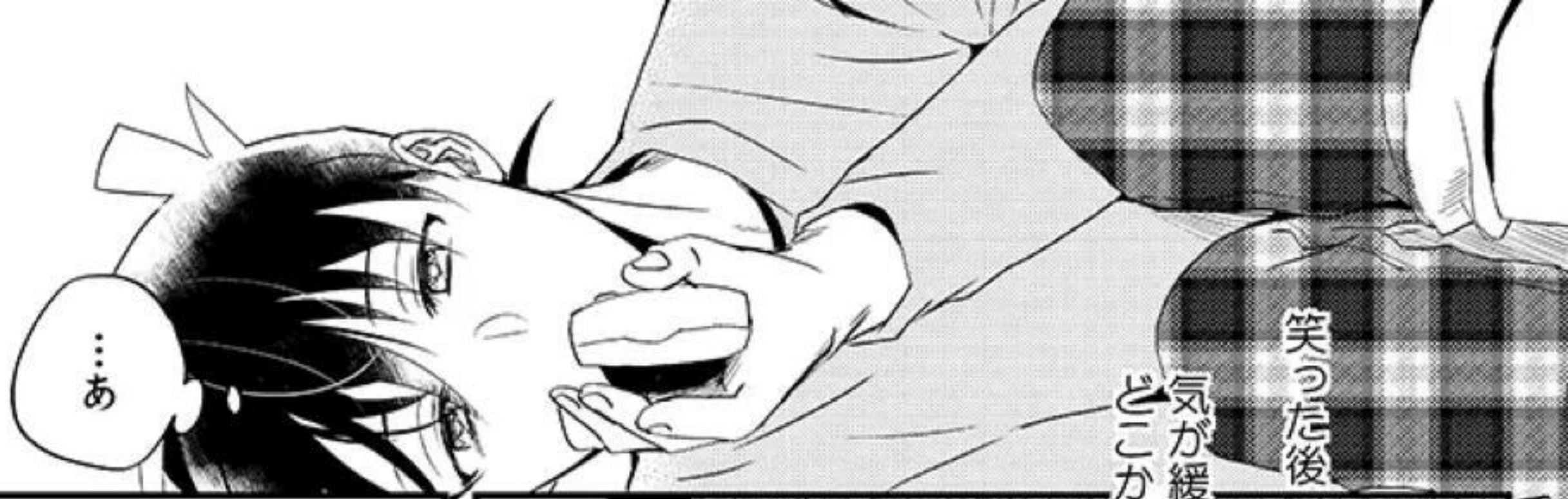
僕ならある程度は
融通利かせて
あげられるし



嬉しかったよ

正直：君は赤井を頼るんじゃないかと思ってた
だから驚いたけど





笑った後

気が緩んで泣きそうになると
どこからか腕が伸びてきた

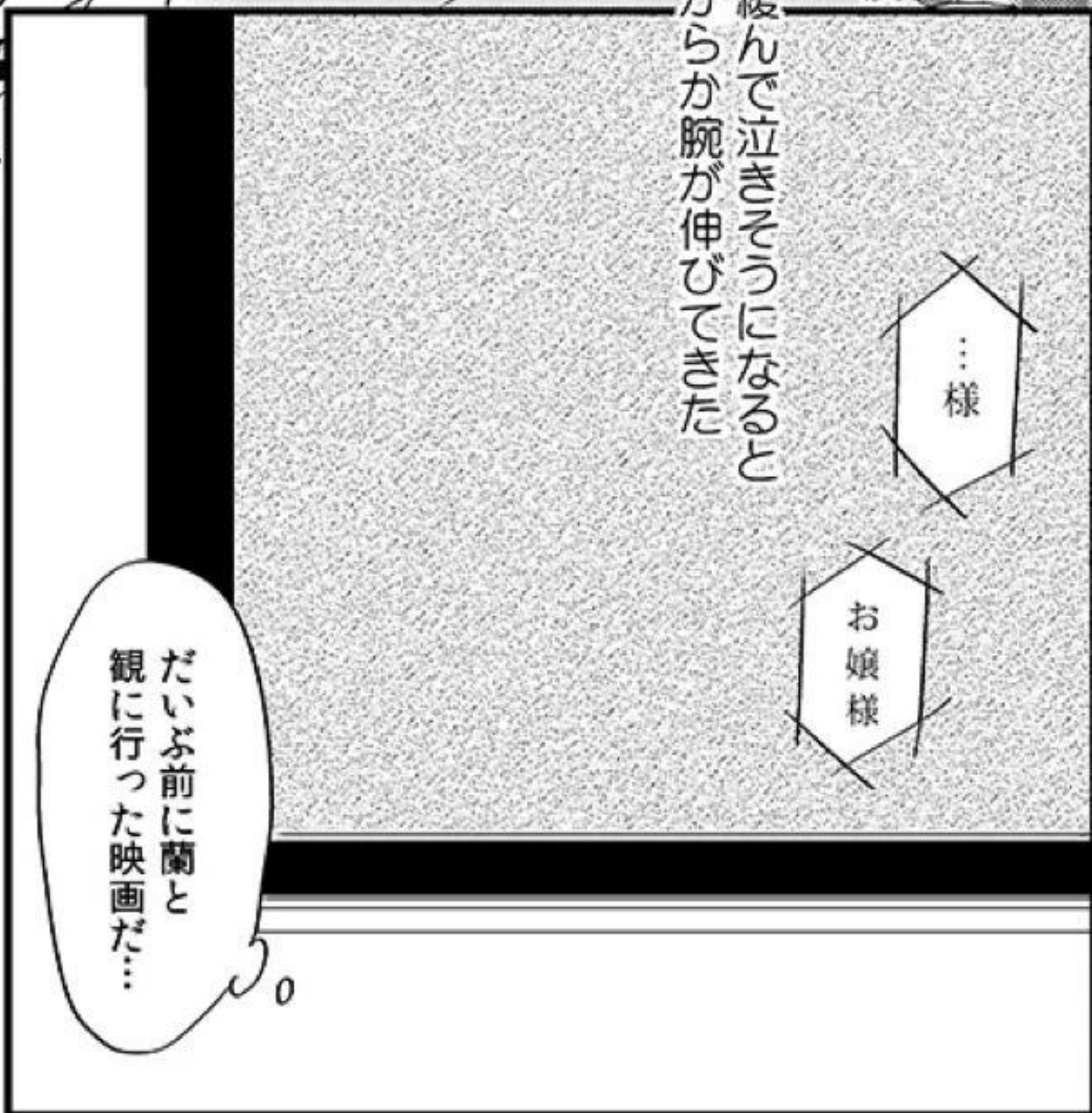
…あ



この戦争が
終わったら—

お—お—…

典型的な
死亡フラグだな



…様

お嬢様

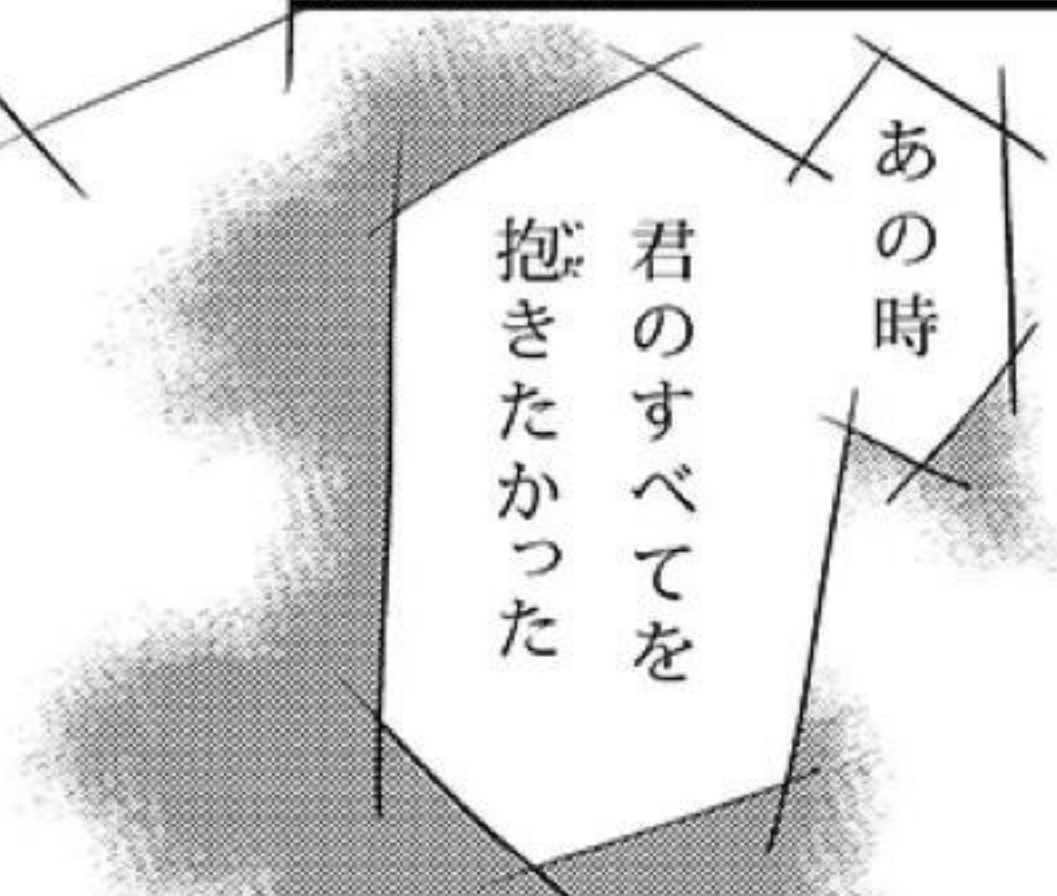
だいぶ前に蘭と
観に行った映画だ…



たしか…

もう何も見えない

そこにいるのですか
…ああこんな結末が
待っていたのなら



あの時

君のすべてを
抱きたかった



あ、でも一応再会は
出来たんだっけか

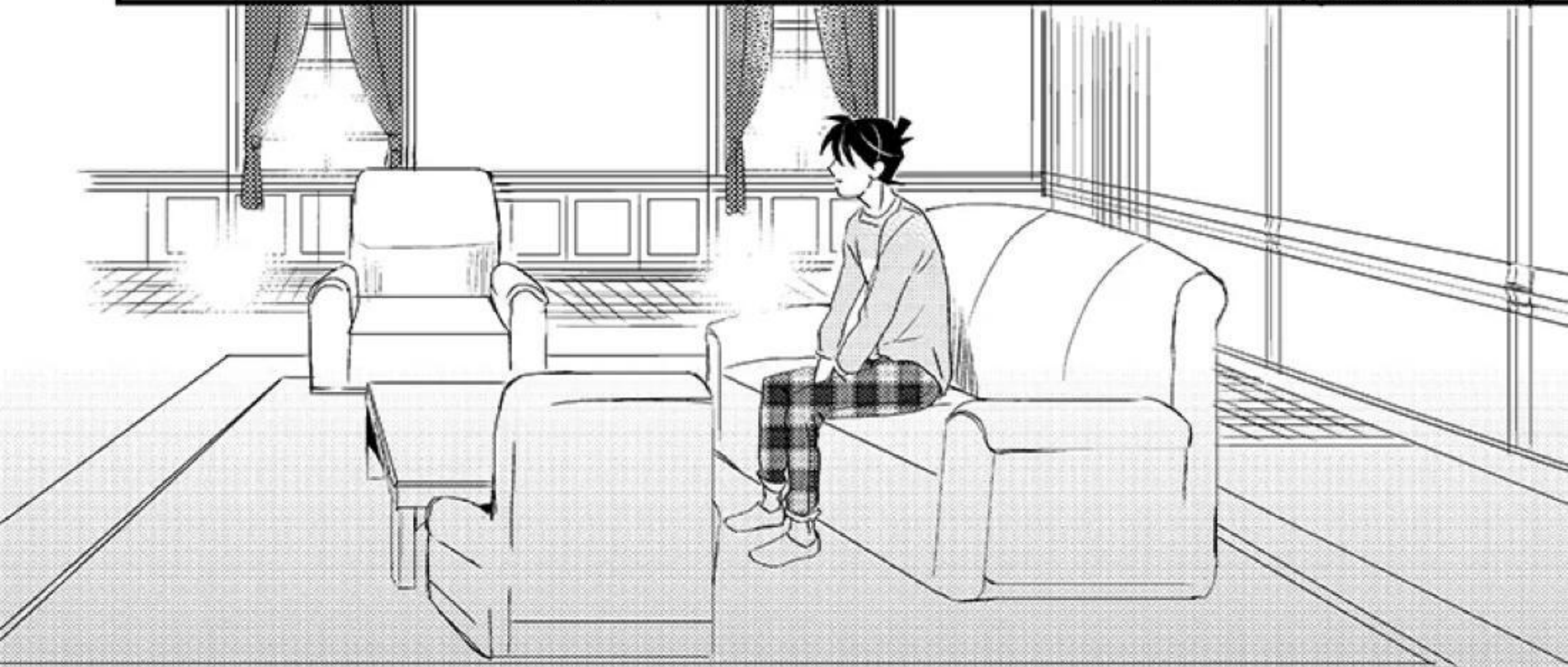
でもすぐに女の腕の中で
息絶えたけど



「.....じ...い」



キ…ス



あの日半身をもがれた代わりに
ひとつだけ得たものがあつた

「おまじない。
次にキスする人とは
何があつても幸せになれるように」

ホワイトアウトしかけた世界に
垂らされた真っ黒なインクの染み
寂しさが実体を持ったようなひと







行きなさい
気が済むまで

アンタって臆病なのな



少し

素直になれるだけ

それに実は似た者同士なのかも



新一君!!

なあ、いつの間に以心伝心出来るようになったの



良かったあ…

アンタが笑って氷の解ける音がするんだ



え

…へ?

あ

わ

いめん、あれ、お疲れ様って言うつもりだった



大事なものを
大事にしたいよ

馬鹿野郎俺を誰だと思ってんだ

見てるだけで満足？

逃がすつもりねーんならちゃんと覚え込ませろよ



俺はそれで不幸にしましたよ



あなたも知っての通り



自分だけ
忘れないようにとか

逃げてんのか
一緒じゃねーか

アンの熱を



---だめ
よそ見しないで







…新一君

名前
呼んでほしい

…れ





※後朝の歌参照

もう…少し位
付き合ってくれたって
良いじゃないか

イヤですよ
ロミジュリってこなんて









へへっ



あ

…全く



君ってヤツは…

洗い流され
匂い立つ

次の季節の気配